

トホクのホウレンソウ栽培方法

発芽適温：15～20℃ 生育適温：15～20℃
土壌酸度：pH6.5～7.0 連作障害；1～2年あける

1. 作物特性

ホウレンソウは暑さには弱く、25℃以上では発芽不良や生育抑制が起こります。また酸性土壌では育ちません。畑の準備段階では必ず苦土石灰を施しておきます。ホウレンソウ栽培でよくある相談は発芽が揃わないということです。タネが土中で水分を吸うのに時間がかかりますから、発芽が不揃いになりやすく、そのためタネまき前に芽だし処理を行うのは効果的です。また長日条件で抽苔します。日が長くなる4月～7月は抽苔の遅い晩抽性品種を選びます。

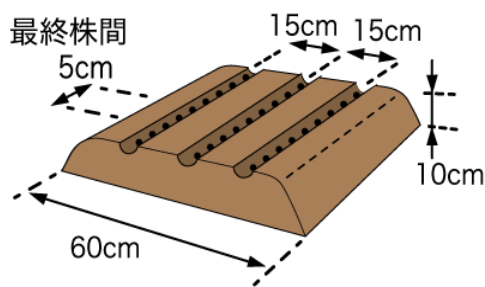
2. 畑の準備

過湿に弱い野菜ですから水はけの良い畑を選びます。酸性土壌に弱いので、タネまきの2週間位前までに必ず苦土石灰をまいて耕してよく馴染ませておきます。



3. タネまき

条間 15cm で 1.5cm の深さにまき筋をつけタネをすじまきます。タネの間隔は 1cm 位とし、その後土をかけて軽く土を押さえます。



ガーゼでタネを包む



ひと晩流水につける

気温が高い時期のタネまきには、芽だし処理（催芽処理）が有効で、発芽が揃いやすくなります。

<芽出し処理時の注意>

ただし、こうして芽だし処理したタネは逆に乾燥には弱くなっています。土から芽が出るまでは畑が乾燥しないように管理する必要があります。

4. 栽培管理

発芽したら、本葉 1 枚の頃に株間 2～3cm に間引きます。混でいるところを中心に順次行い最終的に株間は 5cm 位にし、最後の間引きの時に条間を軽く耕して株元に土を寄せます。



5. 収穫

草丈が 20cm 以上に育ったら収穫します。抜き取ると、葉が折れたり傷ついたりするので、株元を包丁やハサミで切り取るのが良いでしょう。



サラダなどにはベビーリーフがおすすめです。ベビーリーフの栽培は、条間 10cm ですじまきし、間引きをして最終的な株間を約 2cm に密植します。草丈 10cm 位に育ったら収穫です。



●栽培例

